

消えた地名

一、阿南庄 滝河内

阿南庄滝河内の地名は中世から近世までの文書に出て来るが、今は全く消え、且つその地域も判然としていない。以下関係文書を摘記する。

(1) 白杵鑑速書状

就ニ由原御山被之儀一、滝河内至大応寺一、聊御神役之儀被ニ仰付一候哉、從ニ前々一其例無レ之通、託言深重候、雖レ然定旧記有レ之、可レ被ニ仰付一之条、証文預ニ御披見一、可レ被ニ遂ニ其節一由可ニ申達一候、曾而不レ有ニ油断之儀一候、委細桂藏主可レ有ニ演説一候条閣筆候、恐々謹言九月廿四日

九月廿四日

(白杵)
鑑速(花押)

官司坊

註、本文書は鑑連の署名によつて天文か元龜のものと推知することが出来る。本文書によつて大応寺は滝河村に所在していたことを知る。これによつて滝河内川(現大分川)以北の地域も滝河内区域内であつたと思われる、(大応寺所在地は現大分郡庄内町大字庄内原字小原)

本文書は続大友史料(五八六。大分県史料大分郡諸家文書二七〇)(宮師文書二三)所載(立川)

資料

津久見市切支丹資料 第二報

増村隆也
森脇隆徳

目次

はしがき

一、世尊寺裏山の塔

二、下青江井牟田の秋田弥平氏宅前のみかん畑にある塔

三、下青江井牟田の秋田弥平氏宅井戸端にある塔

四、下青江井牟田の大野敏生氏宅裏山にある塔(クルスバの塔)

五、下青江井牟田の大野文雄氏の横にある塔

六、井牟田の大野権八氏宅の裏山にある塔

七、井牟田の共同墓地の塔とマリヤ観音

八、門前の朝日寺跡附近の墳墓群

九、道尾の磨崖塔

十、道尾の寺跡の塔とマリヤ観音

十一、鬼丸石井健氏宅裏の塔